



植物と人々の博物館  
Plants and People Museum

Vol.32

国際雑穀年  
2023



国際雑穀年 (International Year of Millets) の今年、雑穀街道をFAO世界農業遺産に登録申請することを目指した「雑穀街道普及会」の活動も活発になっています。8/9(日)に上野原市長と3回目の面会を行い、来年2月の農林水産省への登録申請に向けた補足と上野原での活動に関する意見交換を実施しました(参加者21名)。上野原市に隣接する相模原市緑区(佐野川地区)では、継続的に雑穀の栽培管理技能を学び語らう自給農耕ゼミ(佐野川)を開催しています(参加者10名程度)。連携関係にある上野原西原でもNPOさいはらによる「お山の雑穀応援団」が開催されています。雑穀を一緒に作り、食す環に参加してみませんか?

雑穀街道普及会：<http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

自給農耕ゼミ(佐野川)：<http://www.ppmusee.org/event/pg651.html>

お山の雑穀応援団：<https://www.facebook.com/zakkokumura/>

本会も長年お世話になってきた上野原市西原の篤農 中川智さんの四季の栽培技術を60分のドキュメンタリーとした「種子をつなぐ人」が製作されました。9/10(日)に完成披露上映会&交流イベントが上野原市西原(西原 life 体験宿したで)で行われるそうです。DVDは2,000円/枚(送料込み)でも入手可能のようです。

国際雑穀年記念・東京学芸大学創基150周年記念として、「雑穀発泡酒 ソビボ・ピーボ(素美暮発泡酒)」の醸造を行います。ぜひ、ご賛同いただき、仮予約頂ければと思います。価格は1口(330ml瓶6本入り)で5,500円(送料込み)。宜しければ任意の寄付を加えて頂ければ嬉しいです。ご質問や仮予約申込は、雑穀街道普及会事務幹事 木俣(kibi20kijin@yahoo.co.jp)までお送りください。

内容量 330ml  
無ろ過のため、瓶底や瓶内に原料の微片や酵母が漂っている場合があります。  
飲用は20才になってから楽しんでください。  
ビンが割れて怪我をしますおそれがありますので、衝突、凍結、直射日光を避けて、丁寧に扱ってください。

150th Anniversary of establishment of Tokyo Gakuin University

2023 国際雑穀年記念  
Sobibo Πιβο made from millet.  
Let's drink together.

発泡酒 アルコール分 5.5%

要冷蔵 (10℃以下)

麦芽使用率 50%以上  
英国産麦芽70%、神奈川県産野良キビ30%  
その他の材料：ドイツ・静岡産ホップ、天然酵母

製造者 Jazz Brewing Fujino  
山口県 神奈川県相模原市緑区 佐野川 659-3  
賞味期限

東京学芸大学創基150周年

©大橋弘

# 種子をつなぐ人

西原 中川智さんの雑穀栽培の暦

完成披露上映会 & 交流イベント

2023 9/10 (日) 第一部: 14:00~16:00  
第二部: 17:00~19:00

参加費 1,500円 雑穀菓子ツブNORAのカレット (高黍と粟のクッキー)  
自家焙煎オーガニックコーヒー付

※映像の上映時間は約60分です。※各回定員25名

※お子様連れのご参加も可能です。ご予約の際にお申し出ください。

山梨県上野原市西原の原地区に生まれ育った中川智さん(1937生まれ)は、  
西原で本格的に雑穀栽培をする最後の農家です。

もともと農家は、自家採種で作物を作るのがふつうでした。

秋に収穫した物の中からよくできたものを選び、来年の春に播く種子にする。

これを毎年繰り返すことで、長い時をかけて品種改良してきたのです。

栽培をやめれば、種子も失われます。

西原ばかりか全国の雑穀の種子が失われつつある今、中川さんが栽培を続けているのは、  
順繰りにいのちをつないで、種子を守ることでもあるのです。

栽培を志す人のために、中川智さんの雑穀栽培の四季を記録しました。

映像の完成を共に祝い、雑穀がある暮らしについて、語り合しましょう!

会場:西原ife体験宿したで 〒409-0141 山梨県上野原市西原1738

19:00~ 囲炉裏を囲んで炉端焼き交流会あり (参加費2,000円)

宿泊 (朝ごはんつき) 4,500円

申込み: info@nokke.life まで下記をメールしてください。

①代表者氏名 ②人数 ③第一部か第二部か ④囲炉裏交流会や宿泊希望の有無



共催: 合同会社古民家のつけ

「種子をつなぐ人」映像制作プロジェクト

制作スタッフ: 著述家 陸田幸枝、写真家 大橋弘、映像作家 三梨朋子